

令和8年度 - 令和10年度

第10次中期経営計画書

 JA兵庫南



パーパスは「なぜ私たちが存在するのか」という社会への約束、
経営理念は「どのような価値観・行動指針で活動するか」という組織の心です。
両者はJA兵庫南の未来を描き、日々の行動を支える大切な指針です。

PURPOSE パーパス

協同の力で笑顔を咲かせ、 幸せを実らせます。

私たちがめざすのは、地域の誰もが心から笑顔になれる毎日です。

協同の力——

それは、一人ひとりの想いと力を持ち寄り、支え合い、高め合うことで生まれる、地域の原動力です。

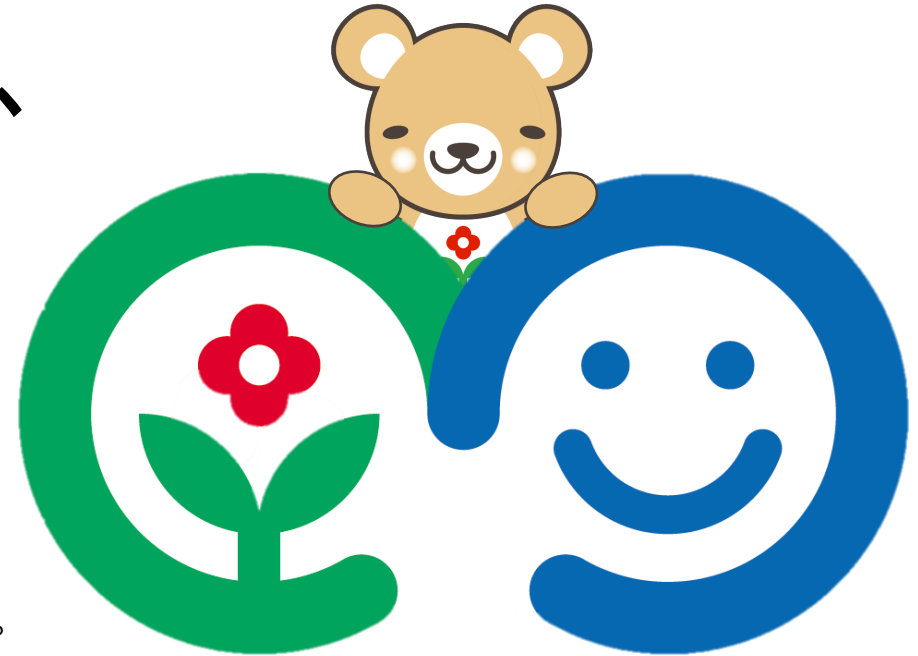
農業の現場で咲く花のように、人と人とのつながりから生まれる笑顔を大切に育てます。

協同の力で支え合い、困難を乗り越え、地域に根ざした幸せの実りを分かち合う。

それが、私たちJA兵庫南の社会への約束です。

このパーパスには、農業と地域の未来をともに創り、次の世代へと希望をつなぐ決意が込められています。

一人ひとりの笑顔が集まり、大きな幸せの実りとなるよう、私たちは歩み続けます。



MISSION 経営理念

組合員と共に繁栄し、安心・安全・安定を共有するJAづくりと、
人・農業・自然が共生できる地域社会づくりをめざします。

CONTENTS

01 第9次中期経営計画の振り返り

02 第10次中期経営計画

03 数値計画

～第10次中期経営計画の策定にあたって～

近年、我が国の農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や後継者不足などによる労働力不足の深刻化、世界的な物流の混乱や物価上昇による農業生産資材価格の高騰、農畜産物の販売価格の不安定な動向、さらには気候変動による異常気象や自然災害の頻発など、急速に変化しています。

政府は改正「食料・農業・農村基本法」に基づき、令和7年から5年間に農業構造転換集中対策期間と位置づけ、食料安全保障強化のため農地集約化、スマート技術導入、共同利用施設合理化を重点的に整備することとしており、日本農業は新たな転換期を迎えています。

こうした状況を受け、第36回兵庫県JA大会では、JAグループのめざす姿(2030)を「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」と定め、不断の自己改革に取り組むことが決議されました。

JA兵庫南においても、兵庫県JA大会の決議事項や第9次中期経営計画で明らかとなった課題を踏まえ、「第10次中期経営計画」を策定いたしました。本計画からは、私たちの存在意義を示す新たなパーパス「協同の力で笑顔を咲かせ、幸せを实らせます」を掲げ、これまでの歩みを大切にしながら、未来に向けて新たな一歩を踏み出します。

令和7年度はバブル経済期以来の金利上昇が続く中、超長期債券を売却し22億5千万円の売却損を計上しました。このたびの売却処理は、2期連続の減損リスクを回避し将来のJA経営の安定に資するための一時的処理であり、令和8年度以降は運用収益を改善させ黒字転換を目指します。

第10次中期経営計画では、「受け継ぐ想い、挑む未来～農業と地域を支えるパートナーとして～」をメインテーマに、これまで培ってきた地域のつながりやJAらしい温かさ、組合員・地域の皆さまとの信頼関係を大切にしつつ、新しい時代に向けた変革にも果敢に挑戦していきます。「地域とともに未来へ歩む、持続可能な農業の実現(地域営農振興計画)」、「共生と信頼による地域社会づくり」、「変革と戦略の高度化による経営基盤の強化」「誇りとやりがいを持てる人づくり」――

この4つの基本方針のもと、役職員一丸となって取り組んでまいります。

変化の時代にあっても、私たちは協同の力を信じ、地域の想いをしっかりと受け止めながら、次代へと希望をつなぐ挑戦を続けていきます。

JA兵庫南は、これからも農業と地域の“支え”となり、皆さまとともに新しい未来を築いてまいります。

令和8年4月

兵庫南農業協同組合

代表理事組合長

野村 隆幸



第9次中期経営計画においては、“「安心」「笑顔」の種を蒔き、未来へ「つながる」実をつくろう”をメインテーマに掲げ、「安心して続けられる農業の実現」「笑顔あふれる地域づくり」「次代へつながる経営改革の実践」を基本方針として、自己改革に取り組んできました。第9次中期経営計画を通じて、人口減少や高齢化という厳しい情勢の中にあっても、対話を通じて組合員・利用者のニーズを汲み取り、課題解決に向けた「種」を蒔き続けてきました。

今後も、自己改革の手を緩めることなく、第9次中期経営計画で得られた成果と残された課題を整理し、第10次中期経営計画へ引き継いでいきます。

第9次中期経営計画で掲げた各事業の取り組み結果は以下の通りです。

営農経済事業

持続可能な農業の実現をめざし、農業者の所得増大および農業生産の拡大に向けて、環境・人にやさしい農産物生産に取り組みました。

農産物生産においては、異常気象等の影響を受ける中、重点品目を中心とした農産物の安定生産・販売に努めるとともに、消費者にとって魅力ある直売所として販売促進を行い、生産者が安心して続けられる農業の実現に寄与することができました。

今後も、次期計画において引き続き持続可能な地域農業振興に向けた各種施策に取り組めます。

信用事業

多様化する組合員・利用者のニーズに対応するため、JAトータルサポートセンターを開設し、各種相談対応ができるトータルアドバイザーが相談会・セミナーを開催し、相談体制の強化に努めました。

また、複合渉外担当者の指導育成に取り組み、「出向くワンストップ」による相談活動で組合員・利用者に寄り添った取り組みができました。

共済事業

休日訪問活動や寄り添い活動イベントの実践により、若年層・次世代との関りを強化し、生存系保障の増加に努めました。また3Q訪問活動・3Qコールの実践により、契約者一人ひとりに合ったひと・いえ・くるまの総合保障を通じた「安心」と「満足」の提供に取り組みました。

保全面においては、ひょう被害の発生に見舞われたこともあり、大規模災害への対策として損害調査資格者を増やし、損害調査体制の構築を図りました。また災害時の迅速な対応を図るため、「Webマイページ」の登録促進をすすめ、契約者の安全確認ならびに利便性を高めるとともに、事務の負荷軽減を図りました。

経営管理

自己資本の充実を図るため、任意積立金の積み立てを進め、経営の健全性維持に努めました。組合員加入促進の結果、組合員数は令和7年度67,374名となり、令和4年度より4,321名増加しました。組合員資本も11億円増加し311億9千万円、自己資本比率は13.93%となりJAバンク基準である8.0%を大きく上回っています。

令和7年度は、将来の金利上昇リスクを早期に遮断し、次年度以降の安定経営をめざして一部の長期保有有価証券を売却した結果、赤字決算となりましたが、ポートフォリオのリスクは大幅に軽減され、将来の経営健全性の向上につなげることができました。

また、不祥事の発生を受けて、内部管理体制の見直しと再発防止策の徹底にも取り組みました。

これらの課題を真摯に受け止め、今後も経営管理体制のさらなる強化と安定した経営基盤の確立に努めてまいります。

基本方針Ⅰ

**地域とともに未来へ歩む、
持続可能な農業の実現
(地域営農振興計画)**

基本方針Ⅱ

**共生と信頼による
地域社会づくり**

第10次中期経営計画メインテーマ

受け継ぐ想い、挑む未来

～農業と地域を支えるパートナーとして～

基本方針Ⅲ

**変革と戦略の高度化
による経営基盤の強化**

基本方針Ⅳ

誇りとやりがいを持てる人づくり

第10次中期経営計画のメインテーマには、
私たちJA兵庫南が、これからも農業と地域を
“支える”存在であり続けたいという強い想いを込めました。

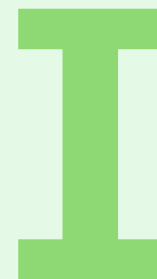
農業や地域社会は、今まさに大きな変化の中にあります。

新しい時代に向けて変わる勇気を持ちながらも、
地域のつながりやJAらしい温かさ、組合員・地域の皆さんとの
信頼関係といった“守るべきもの”も大切にしていきたい——
そんな想いを「受け継ぐ想い、挑む未来」という言葉に託しました。

JA兵庫南はどんな時も、農業と地域の“支え”となり、
組合員や地域の皆さんとともに成長し続けるJAをめざして、
これからも歩み続けます。

地域とともに未来へ歩む、 持続可能な農業の実現 (地域営農振興計画)

地域農業の発展は、地域社会の活力や食の安全・安心を支える基盤です。
私たちは、地元の農産物の価値を高め、消費者や取引先から選ばれる産地づくりを進めるとともに、
環境に配慮した持続可能な農業の実現をめざします。
また、新たな担い手の育成や多様な人材の参画を促進し、地域農業の未来を切り拓くための取り組み
を強化します。



1. 地域農産物のブランド力を高め、消費者や取引先から選ばれる産地となることで、 安定した販路の確保と販売体制の強化を実現します。

- ① 米・麦・青果について、生育状況に応じた計画的な訪問指導を徹底し、収量の向上を図ること
で、安定的な生産・販売体制の強化に取り組みます。
- ② 価格競争に依存しない販売をめざし、地域ブランドの確立に取り組みます。生産背景や品質
へのこだわりを「東播磨ブランドストーリー」としてSNSで発信し、地元企業への斡旋販売
など、付加価値のある販売体制の強化を図ります。
- ③ 各直売所の運営協議会と連携し、特産品や旬の農産物を中心とした品揃えの充実を図ること
で、消費者にとって魅力ある直売所運営をめざします。また、JA全農兵庫のECサイト
“JAタウン”を活用した販売を行い、全国の消費者への地域農産物のPRとブランド力・販売
力の向上に取り組みます。



2. 生産性と収益性の向上に加え、環境に配慮した農業の普及を通じて、 持続可能な地域農業の発展をめざします。

- ① 水稻の温暖化対策として、高温耐性を持ったオリジナル品種への品種転換や、鉄鋼スラグ
の活用による高温対策に取り組みます。
- ② 担い手農家を中心に、JA推奨品目や集約銘柄品目の普及を進めるとともに、水稻新品種
「コノホシ」用や麦用の新肥料を活用し、生産コストの低減や単収向上、被膜殻の流出軽減な
ど、環境に配慮した農業の推進に取り組みます。
- ③ 環境創造型農業の普及拡大に向けて、関係機関と連携し、有機農業の推進を図り、環境負
荷の低減に取り組みます。

生産性向上と環境配慮の推進



- ・新肥料の活用によるコスト低減と収益向上
- ・プラスチック被膜殻の流出軽減

水稻の温暖化対策



- ・高温耐性を持つオリジナル品種への転換
- ・鉄鋼スラグの活用による高温対策

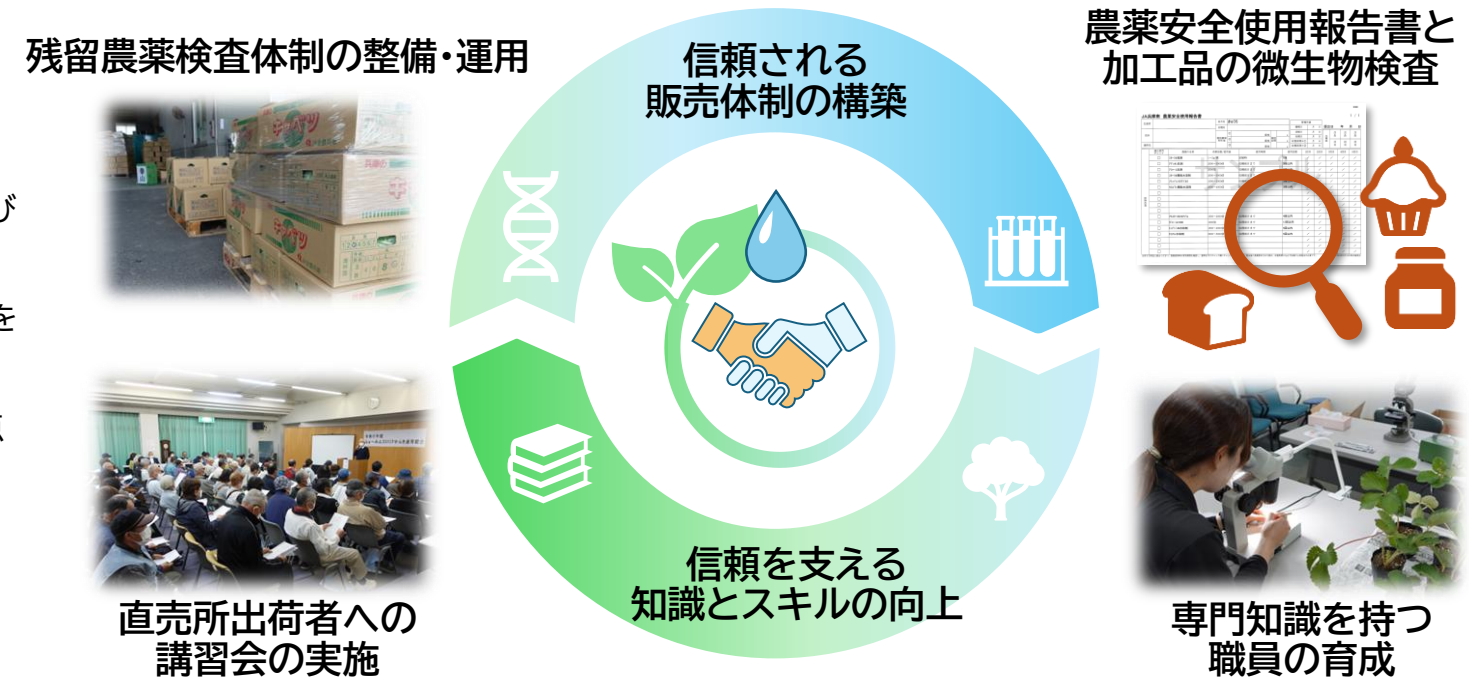
3. 新規就農者や多様な担い手の確保・育成を通じて、
地域農業の持続性向上を図ります。

- ① 関係機関と連携し、新規就農者の受入・定着を促進するための支援体制の構築を図ります。
- ② 地域農業支援活動や援農ボランティア、求人サイト等を活用し、担い手不足や高齢化による労働力不足に対応するため、農家への労働力支援を強化します。
- ③ 営農部門と信用部門で事業間連携を取り、農家(正組合員)訪問や農業融資セミナー・個別相談会など出向く体制を整えることで、農業資金のニーズ喚起と利用促進を図ります。



4. 安全・安心な農産物の安定供給体制を確立し、
消費者や取引先から信頼される産地づくりを進めます。

- ① 出荷物の安全性を確保するため、残留農薬検査体制の整備・運用を徹底し、消費者および取引先から信頼される販売体制の構築を図ります。
- ② 生産者からの農薬安全使用報告書の提出や、加工品の微生物検査による安全性の確認を徹底し、消費者が安心して農産加工物を購入できる体制づくりに取り組みます。
- ③ 直売所出荷者への農薬講習会・加工品講習会の実施や、適切な農産物取扱いに向けた点検活動を行うとともに、食品表示検定やHACCP講習会を通じて、適切な商品管理と衛生管理に向けた職員の育成を進めます。



共生と信頼による 地域社会づくり

地域のつながりや信頼関係は、安心して暮らせる社会の土台です。
私たちは、多世代・多様な住民が交流し、互いに支え合う地域づくりを推進します。
組合員や利用者との信頼関係を深め、地域と連携した活動を通じて、JAの存在価値を高めるとともに、
情報発信力の強化により地域社会への貢献をめざします。



1. 世代を超えた交流事業や地域イベントを推進し、多世代のつながり強化と次世代との信頼関係の構築をめざします。

- ① 女性会活動や各種スクール活動を通じて学習の場を設け、JAと組合員とのつながりを強化し、組合員が主体的に参加できる場づくりに取り組みます。
- ② 各ブロックで開催するふぁ～みん祭りを通じて、子どもからご高齢の方まで幅広い世代が交流できる機会を創出し、地域全体のつながりを深めます。
- ③ 訪問活動を通じて、次世代・多世代利用者への3Q活動訪問を行い、利用者一人ひとりに寄り添った安心と安全の提供に努めます。また、地域見守り活動にも取り組み、幅広い世代の安心できる地域づくりを推進します。
- ④ JA兵庫南の総合的なサービスを活かし、相続・資産管理・資産運用など、組合員や地域住民のライフステージに応じた相談体制の充実を図ります。セミナーや個別相談会の開催を通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。

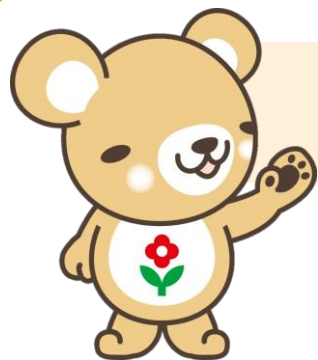
2. 組合員活動の参加促進や地域団体との連携強化に取り組み、組合員組織活動の活性化と地域連携の強化を図ります。

- ① 地域の若い世代へ積極的に組合員加入を促進し、組織の持続的な発展と活性化を図ります。
- ② 「ふぁ～みん食農教育支援金」を通じて、地域団体と連携した食農教育や地域貢献活動を展開し、地域との関係強化を図ります。
- ③ 各支店のふれあい委員とともに、食と農に関するイベントや、地域清掃、縁日の開催など地域に寄り添った活動に取り組みます。
- ④ ネットバンク、ネットローン、ATMの活用促進を通じて、組合員・利用者の利便性向上と取引拡大を図ります。



3. 広報活動やSNSの活用を強化し、地域内外への情報発信力の向上と JAの存在感・信頼感の向上をめざします。

- ① 広報誌の毎月発行やマスコミへの積極的な情報発信を通じて、JAの事業活動を地域住民に広く伝え、JA活動への参画を促進します。
- ② YouTube動画で女性会活動や各種イベントの様子、農業現場での取り組みなどを臨場感のある映像で発信し、JAの活動をより身近に感じていただけるよう努めます。
- ③ InstagramやLINE公式アカウントの運用を強化し、旬の農産物情報や各種イベント、キャンペーン情報など多彩な情報を発信するとともに、部門間連携による一体感のある広報活動に努めます。



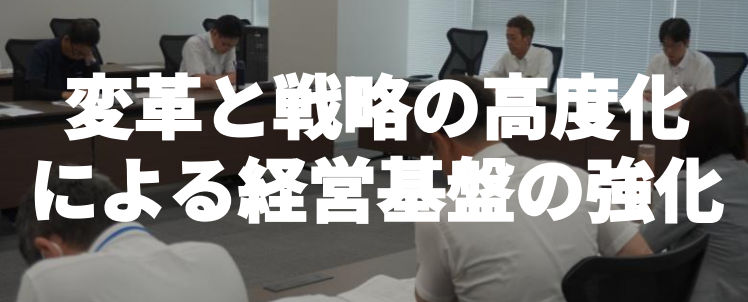
JA兵庫南と広報活動

地域の皆さまにとって、農業が身近であるために、今までも、これからも。変遷していく時代に合わせて様々な手法で、JA兵庫南の活動を伝えていきます。

合併当初から続く広報誌「ふあ～みん」から、LINE、InstagramといったSNSまで、媒体によってお伝えする内容を変えながら広報活動を行っています。

これからも愛されるJA兵庫南であるために、精力的なPR活動を続けています。





社会や経済環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、持続可能な経営を実現するためには、経営基盤の強化と業務の効率化が重要です。
私たちは、組織ガバナンスや経営管理の強化、デジタル化の推進を通じて、透明性と信頼性の高い経営体制を構築します。地域社会とともに発展し続けるJAをめざし、変革と戦略的な取り組みを進めます。



1. ガバナンス体制の見直しや内部監査の強化を進め、 強固なガバナンスと内部統制の確立による組織の信頼性向上をめざします。

- ① 不祥事の未然防止と再発防止に向けて、内部統制の強化や職員への継続的な倫理・コンプライアンス教育、情報共有・通報体制の整備を推進し、信頼される組織づくりに努めます。
- ② 内部監査やガバナンス規定の見直しを進め、組織の透明性と健全性を高めます。
- ③ 不正対応監査ツールの導入やサイバーセキュリティ対策の強化に取り組み、リスク管理体制を充実させます。



2. 業務のデジタル化推進やシステムの安全性向上を図り、 業務効率化とともに安全性・安定性の確保をめざします。

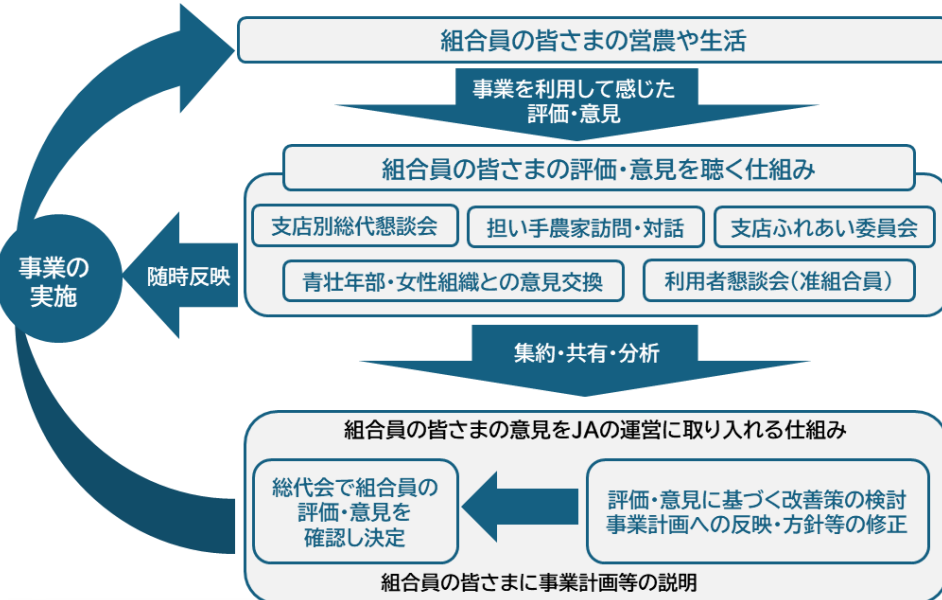
- ① 生成AI等の先進技術を活用し、業務全体のデジタル化や抜本的な業務見直しを通じて、効率化と合理化を推進します。
- ② 複雑化した組合員コードのシステムの整備と運用体制の見直しを行い、事務処理業務の効率化とシステム連携の円滑化に取り組みます。
- ③ 大規模自然災害に備え、契約者の連絡先把握や迅速な請求対応など、利用者の利便性向上のため、Webマイページ登録推進に取り組みます。
- ④ サイバーセキュリティ対策や個人情報保護の強化を徹底し、デジタル化の推進とともに利用者の安心・安全を守ります。



3. 経営戦略の見直しや組織体制の柔軟化に取り組み、 環境変化に迅速かつ柔軟に対応できる持続的経営体制の構築を図ります。

- ① 安定した収益確保のため、信連預金の他に計画的な有価証券運用や貸出金の伸長、組合員や地域の多様なニーズに応じたサービスの強化など、収益源の多角化に取り組めます。
また、自己資本比率などの経営指標を定期的にモニタリングして改善し、経営基盤と自主運用力を強化することで、外部環境の変化にも強い収益構造を構築します。
- ② 農家所得や満足度の向上、事業の継続性確保に向けて、課題解決を通じて持続可能な営農経済事業基盤を構築し、農家とともに発展します。
- ③ 組合員の声を反映し、運営への参画を促進する仕組みを強化するため、意見交換会や運営協議会への参加機会の拡充などを通じて、組合員主体の経営に努めます。
- ④ 事業継続計画(BCP)の運用徹底や、施設等の老朽化対応・インフラ整備を進め、組合員・地域のライフラインと安全を守ります。

組合員・利用者の皆さまの声をJAの運営に反映する取り組み



収益源の多角化と財務基盤の強化

- 収益源の多角化による安定した収益確保
- 経営指標のモニタリングと改善

組合員主体の組織運営

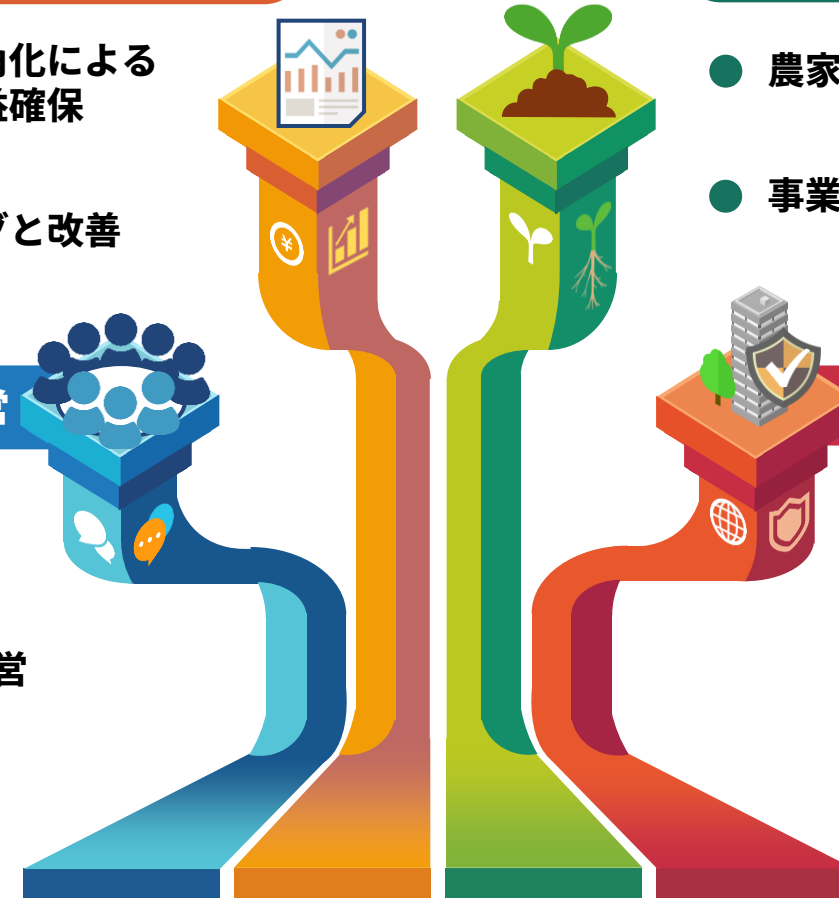
- 組合員参画の仕組みを強化
- 組合員主体の経営

営農経済事業の持続可能性

- 農家所得や満足度の向上
- 事業の継続性確保

地域の安全とインフラ整備

- 事業継続計画(BCP)の運用徹底
- 老朽化対応とインフラ整備



誇りとやりがいを 持てる人づくり

組織の成長と発展には、職員一人ひとりの誇りとやりがいが不可欠です。
私たちは、コンプライアンスやリスク管理を徹底し、健全で信頼される組織風土を築くとともに、働きやすい職場環境の整備と多様な人材の活躍を推進します。
職員の成長支援やキャリア形成を強化し、組織全体の活力向上をめざします。

IV

1. 職員の成長支援とキャリア形成の強化により、 組織全体の活力向上を図ります。

- ① CDP(キャリア・ディベロップメント・プログラム)の見直しを進め、キャリア面談や自己申告制度の充実などを通じて、職員一人ひとりが自分らしい将来像を描けるキャリア形成支援を強化します。
- ② 「人づくり」プロジェクトの創設や、社内外の研修・ワークショップなど多様な学習機会の提供を通じて、職員が自ら課題を見つけ、主体的に解決に取り組む力を育成します。
- ③ 管理者のマネジメント力・人財育成力の強化、1on1ミーティングの定着など、職員一人ひとりの成長を支える仕組みを充実させます。
- ④ 研修・資格取得・OJT等を充実させ、専門性や現場力の向上を図り、地域や職場から「頼りにされる」「応援される」「求められる」人財の育成を進めます。

2. 働きやすい職場環境の整備と多様な人財の活躍推進を通じて、 職員一人ひとりの能力発揮を促進します。

- ① 採用活動の強化による人財確保に加え、ルーキーサポーター制度やキャリアパスの明確化など定着支援策を充実させ、農業・金融・共済・地域振興など幅広い分野で活躍できる人財を育成します。
- ② 組合員・利用者による評価の導入、職員のパフォーマンスや離職率データなどの人事データシステムによる分析を行い、より効率的かつ柔軟で働きがいのある職場環境の整備に活かします。
- ③ エンゲージメント調査を定期的実施し、職員の声をもとに職場環境の改善や支え合う職場づくりに取り組みます。



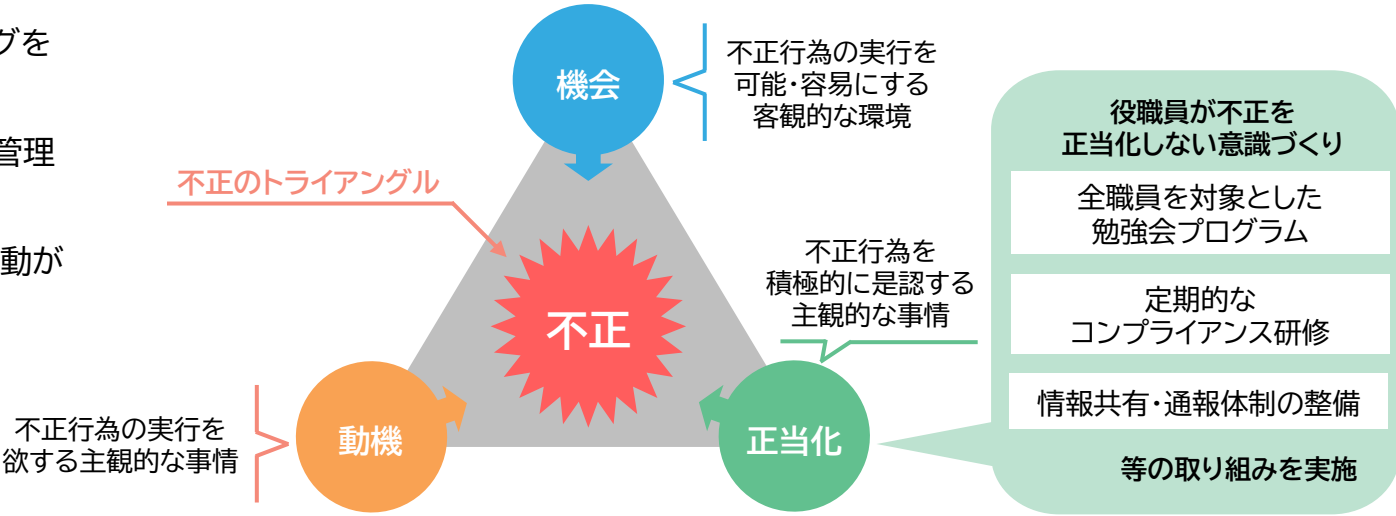
「頼りにされる」「応援される」「求められる」人財



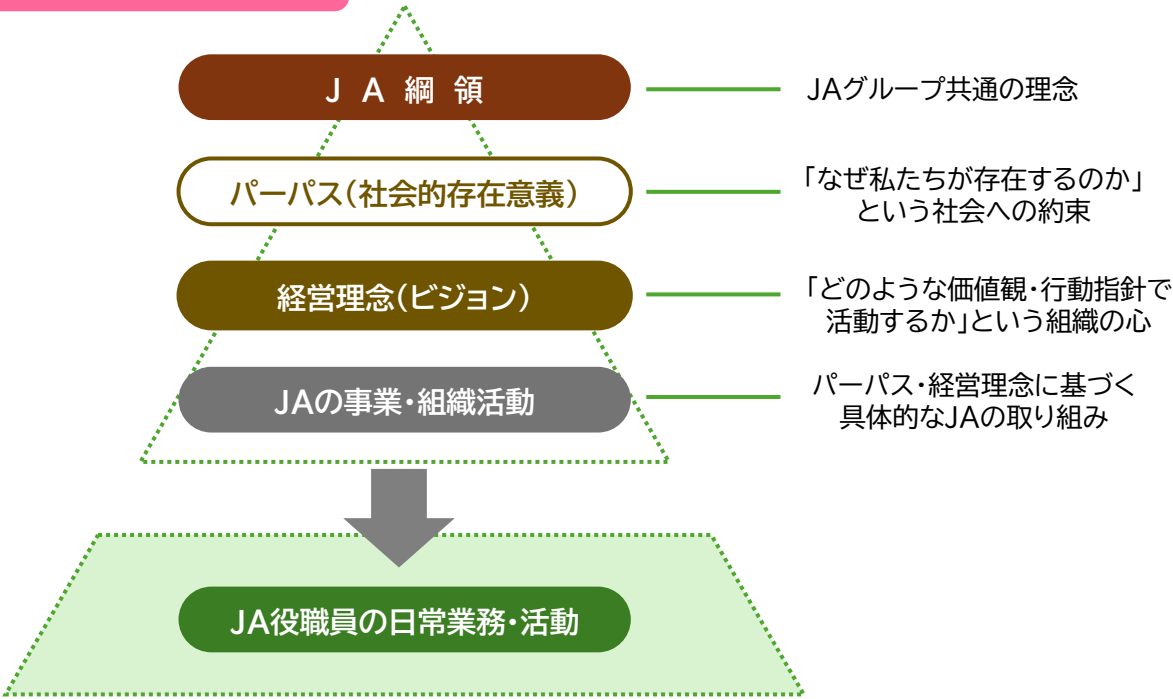
3. 全職員がより高いコンプライアンス意識と普遍的な倫理観を持つ人づくりを推進し、健全で信頼される組織風土の醸成をめざします。

- ① 全職員を対象とした勉強会プログラムを策定し、定期的なコンプライアンス研修やeラーニングを実施し、倫理観と法令遵守意識の向上を図ります。
- ② 管理者に対しては、リーダーとしての役割を果たすため、より高度なコンプライアンス・リスク管理研修の受講を必須化します。
- ③ コンプライアンス意識やリスク管理への取り組みを人事評価制度に反映し、これらの意識と行動が組織全体に定着するよう促進します。

組合員・利用者の信頼を高めるため、役職員のコンプライアンス意識をさらに向上します。



JA兵庫南の存在意義



JA兵庫南のパーパスには、地域とともに成長し続ける私たちの決意が込められています。協同組合の原点を見つめ直し、職員一人ひとりが自らの役割と誇りを再確認することで、より強い組織をめざします。



(1) 事業取扱高計画

			令和7年度実績	令和8年度計画 (第1年度)	令和9年度計画 (第2年度)	令和10年度計画 (第3年度)	(単位:百万円、ポイント)
信用事業	貯金	期末残高	672,513	667,513	665,013	663,013	
	預金	期末残高	461,438	447,608	438,108	429,108	
	貸出金	期末残高	193,113	195,113	197,113	199,113	
	有価証券	期末残高	9,452	18,740	23,740	28,740	
	投資信託	取扱高	5,804	7,000	8,000	9,000	
共済事業	長期・自動車共済新契約高(ポイント)		1,299万PT	1,100万PT	1,100万PT	1,100万PT	
	長期共済期末保有(ポイント)		2,392万PT	2,331万PT	2,219万PT	2,146万PT	
	自動車共済掛金		989	1,035	1,061	1,060	
	長期共済期末保有高		739,715	720,883	686,216	663,606	
購買事業	購買品供給高		980	925	932	956	
	購買品取扱高		230	268	270	270	
	合計		1,211	1,193	1,203	1,227	
販売事業	米麦販売品販売高		1,155	881	893	896	
	青果販売品販売高		229	272	274	277	
	畜産販売品販売高		542	454	458	463	
	ふぁ～みんSHOP受託販売高		1,641	1,725	1,721	1,712	
	受託販売合計		3,569	3,332	3,347	3,350	
	ふぁ～みんSHOP直売米		638	524	473	475	
	ふぁ～みんSHOP他		464	442	428	429	
	買取販売合計		1,103	966	901	904	

(2) 経営基盤計画

組合員
拡充計画

正組合員	令和7年度実績	令和8年度計画 (第1年度)	令和9年度計画 (第2年度)	令和10年度計画 (第3年度)
准組合員				
合計				

経営指標

自己資本比率				
貯貸率				
貯証率				

(単位:人、%)

(3) 3ヶ年総合収支計画

信用事業総利益	令和7年度実績	令和8年度計画 (第1年度)	令和9年度計画 (第2年度)	令和10年度計画 (第3年度)
共済事業総利益				
購買事業総利益				
販売事業総利益				
その他事業総利益				
指導事業収支差額				
事業総利益				
事業管理費				
事業利益				
経常利益				
税引前当期利益				

(単位:百万円)



兵庫南農業協同組合

本店／〒675-0066 加古川市加古川町寺家町621 ☎079(424)8001
営農経済部／〒675-1121 加古郡稲美町北山1243-1 ☎079(496)5780